

市民と市長の対話集会

市長と語ろう！ほっとミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 平成23年（2011年）11月4日（金）
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 花水公民館 2階ホール
- 3 テーマ 防災対策について
- 4 出席者 参加者18名 傍聴者20名
- 5 市長挨拶

皆様、本日はほっとミーティングに御参加いただきありがとうございます。

はじめに、ほっとミーティングを開催するにあたり、今、物事を進めるうえでの変換点を迎えていると考えます。行政の施策を行ううえで市民の皆様がどう考え、どのようなものがあるのか、皆様の意見を伺い、まちづくりに活かしていきたいと考え、市民の皆様と直接対話を行う機会としてほっとミーティングを開催させていただくことになりました。そして、本日、花水公民館にて初めての開催となります。

本日の対話集会のテーマは防災対策についてですが、4月に市長に就任し、はじめに東日本大震災について考えました。就任後から平塚市の防災対策、地震対策、津波対策について考え、様々な対策を講じてきました。私も市職員の頃に防災担当課に勤めていたことがありますが、この花水地区の皆様の防災意識の高さは認識しております。本日は皆様の意見、考えを伺い、行政に反映できればありがたいと考えております。

6 対話集会で取り上げられた防災対策内容

- ① 津波避難ビルについて
- ② 避難所について
- ③ 津波避難ビル、避難所以外の津波対策について
- ④ 災害時の情報伝達方法について
- ⑤ 避難所である学校の収容可能人数と避難所の耐震性について
- ⑥ 保育園等の避難方法について
- ⑦ 高齢者、障がいのある方の避難方法について
- ⑧ 木造住宅の耐震補強対策について
- ⑨ 火災時の消防車の走行道路について
- ⑩ 放射能汚染対策について
- ⑪ 新庁舎の防災対策について

7 具体的な対話集会の内容

① 津波避難ビルについて

参加者意見・質問
<p>津波避難ビルについて、市が避難施設を造ることは難しいと思います。マンション等民間の建物を津波避難ビルに指定することはすばらしいアイデアだと思います。しかし、現在の津波避難ビルは地域的な偏在があり、絶対数が足りません、数が増えないのはなぜですか。</p> <p>また、現在の進捗状況、民間の建物との協定を結ぶ交渉方法を聞きたい。</p>
市長意見・回答
<p>現在、津波が発生した時の一時的に命を守る場所の確保を急いで行っています。</p> <p>津波避難ビルについて、公募を行った理由は地域の皆様と一緒に地域の皆様の命の安全を守ろうという思いから公募をさせていただきました。同時に、行政も防災危機管理課を中心に市内建物の中から3階以上で耐震性もあり、共有の逃げる場所もある建物を抽出した結果、288か所の建物が対象となりました。現在職員が1件ずつ建物の持ち主、住民、管理組合にお願いをしているところです。10月末、津波避難ビルの協定を結んでいる建物が6か所、公共施</p>

設が8か所あります。協定が進まない理由は、建物の持ち主、住民、管理組合との協議の中で、津波の災害は24時間いつ起こるか予測がつきません。建物の持ち主、住民、管理組合としても、津波発生時に突然第三者が入ってくることに對して抵抗があるようで、協定を結んでいただけないのが現状です。しかし、津波の災害が起こった時、一時的に命を守る高いところを確保するために1件ずつお伺いをし、御理解いただき協定を結んでいただけるようお願いをしています。協定については、288か所中200か所を目標に、自治会、建物の持ち主・住人・管理組合、行政の3者にて結ぶべきであると考えています。しかし、行政が入り、かしくまることで協定を結びにくいとの声もあります。そこで、お互いに近隣の住民である自治会と建物の持ち主・住人・管理組合での話し合いをぜひ進めてくださいとお願いしています。

参加者意見・質問

津波避難ビルについて、民間のマンションと協定を結ぶ時に既存のマンションと新築のマンションとではどのように交渉を行うのか聞きたい。
新築の建物で津波避難ビルを想定した場合、海側の地域には建物の高さ制限がありますが、どのように考えていますか。

市長意見・回答

既存のマンションについて、耐震性を確認したうえで、先の説明のとおり、津波避難ビルの協定を結んでいただけるようお願いをしています。新築のマンションについてですが、建てるための高さ制限の緩和をするようなまちづくり条例を作っていくことも重要ではないかと考えます。しかし、南側というのは海に面し眺望の問題もあります。解決策として、地域ごとに高さ制限を緩和することも必要かと考えます。この建物は津波避難ビルとして必要なものであるということを説明し、理解していただき、高さ制限の緩和をさせるまちづくり条例を作ることが一番いいのではないかと考えます。

参加者意見・質問

津波避難ビルについて、協定を結んでいない建物の管理者に相談をした結果、協定は結んでいないが避難をしてきても構わないと言っていただきました。しかし、入口や階段が狭く、災害時に大勢の人が押し寄せた場合の危険性を心配していました。協定を結んだ建物の持ち主が入口や階段の改修工事を行った場合、市からの補助はありますか。

市長意見・回答

現在、津波避難ビルの協定を結んではいませんが、協定を結ぶことを前向きに

考えていただいている建物もあります。津波避難ビルの協定を結んでいただいた建物について、災害時の経路、入口、階段等によほど危険な場所があり、改修をしていただいた場合にその改修が補助の対象になるかどうかは防災の担当課に確認をします。(※) 確認結果は、「9 集会後の確認結果」に記載してあります。

② 避難所について

参加者意見・質問

避難所について、地域ごとに指定をされていますが、他の地域に居たときに災害が発生した場合は別の避難所に避難してもいいですか。災害時の避難方法がわかる防災マップについて聞きたい。

市長意見・回答

避難所について、55か所に避難所を指定しています。一応、自治会単位で避難場所は指定していますが別の地域に出ている時に災害が発生した場合は近くの避難所に避難していただいで結構です。そのために現在、避難所の位置、避難ビルの位置を示した防災マップを作成中です。防災マップには津波の浸水の予測図、地域の揺れ方の予想等、避難に必要なものを盛り込む予定です。

③ 津波避難ビル、避難所以外の津波対策について

参加者意見・質問

津波避難ビル、避難所以外に津波を想定した取り組みについて聞きたい。

市長意見・回答

神奈川県では、東海地震が起き、震度6強の地震が発生した場合、相模川河口で大きな津波が起こることが想定されています。その場合、4メートルから5メートルの津波が起こる想定ですが、平塚市は国道134号線の高さが8メートルあるため内陸までの津波による被害はないとされてきました。しかし、今は想定内というものはありません。津波が平塚市の内陸まで被害をもたらした場合、津波がどのように襲ってくるかというシュミレーションを東海大学とタイアップし、コンピュータグラフィックにてDVDを作成していて、出来上がりつつあります。DVDは各公民館や自主防災組織に配布する予定です。市民の皆様に津波の恐ろしさを理解していただくとともに、津波が発生した場合、どのように避難をするべきかという事前の自主防災につなげていただくためのものとして御活用いただきたいと思ひます。

④ 災害時の情報伝達方法について

参加者意見・質問

東日本大震災の時も津波の発生や地震について、情報が住民へ伝達されるのに時間がかかったり、伝わらなかったことがあったと耳にしました。災害時の市民への情報の伝達方法について聞きたい。また、防災無線が聞きにくいことがあるが、他に情報を得る方法はありますか。

市長意見・回答

災害時の情報伝達方法について、今までは自治会長、副会長に防災行政無線の個別受信機を渡し災害発生時の避難勧告等を行っていたが、機械自体が古くなり機能しなくなってきたため、これを廃止しました。代わりに、防災行政ラジオを520台、9月の補正で購入し、海岸地区の各自治会長等、主だった施設に配布をし、情報を早く伝達できるようにしています。市民の皆様が必要であれば、自費での購入ができるように考えております。防災行政無線は市内に124か所あり、サイレンだけでなく様々な情報を流していますが、風向きの影響等で聞こえにくいとの声があるため、防災無線以外の災害時の情報伝達方法として、8月1日から災害時のテレフォンガイドの導入、災害発生の内容や地域の訓練等を発信するツイッター制度の導入、ドコモの携帯電話限定ですがエリアメールの制度を導入しました。早く正確な情報の伝達を行うための制度を導入しています。

⑤ 避難所である学校の収容可能人数と避難所の耐震性について

参加者意見・質問

海側の避難所である学校について、避難所対象者が収容しきれられるのか。また、避難対象者が安全に避難できるのか、学校は避難対象者に耐えうるだけの耐震性があるのか聞きたい。

市長意見・回答

避難施設である学校について、就任した時に教育長に確認をしたところ、海側の学校の屋場にフェンスがないところがあるとのことであったため、6月議会の補正にて4棟にフェンスを付けました。同時に構造を確認し、屋上に避難する時に何人までの収容ができるのか、避難時に耐えうる耐震性があるのかどうかを検討するよう指示をしました。結果、避難対象者が屋上に収容できること、避難対象者が屋上に避難した場合、耐えられるだけの耐震性を確認でき、土台からの立て直しの必要もなくフェンスを付けることができました。

⑥ 保育園等の避難方法について

参加者意見・質問

保育園では災害時に園児を安全な場所に避難させた後に、どのような手順で親のところへ帰すべきなのか判断が難しいのですが、決まりなどはありますか。

市長意見・回答

保育園、幼稚園、小学校、中学校での避難方法について、園児、児童、生徒を安全な場所に避難させた後の対応については、教育委員会で定めていますので確認をしていただき、子供たちの避難について、適切な対応をお願いします。

⑦ 高齢者、障がいのある方の避難方法について

参加者意見・質問

災害時の高齢者や障がいのある方の避難に関する防災対策を聞きたい。

市長回意見・回答

高齢者、障がいのある方の避難について、地域の民生委員の協力により、災害時要援護者避難支援プランというものを作成しています。これは、災害時に地域の皆様が高齢者、障がいのある方の避難に協力してもらえるためのもので、高齢者、障がいのある方に登録をお願いしているところです。実際、登録のためには支援をしてくれる人を1人決めなければならないため、支援者を見つけれない方の登録が進んでいない面もありますが、10月で約5,700人の登録があります。防災対策における自助の重要性からも、避難に援助が必要な方はぜひ自ら手をあげていただきたいと思います。地域の皆様にお知らせいただくことができなければ、いざ災害時にどこに避難の援助を求めている方がいるか分かりません。行政は当然のことながら、防災に強いまちづくりには、地域の皆様が災害に強い地域づくりを行っていただくことが重要であると考えます。災害時要援護者避難支援プランだけでなく、地域のつながりを強く深めていただくことが、地域が災害に強い地域になり、平塚市が災害に強いまちになることにつながると考えます。

⑧ 木造住宅の耐震補強対策について

参加者意見・質問

津波対策とともに、平塚市では直下型の地震が起こる可能性が非常に高いと思います。建物への耐震補強対策について聞きたい。

市長意見・回答

地震対策、耐震補強については、昭和56年以前の木造建物の耐震診断、設計、補強を行う時に市は補助を出しています。しかし、対策が進んでいないことは認識しています。理由はやはり、補助があるとはいえ、自費負担も当然発生するため持ち主も対策に踏み切れないということだと思います。予算があれば補助率もあげられますが予算には限度があります。更なる対策として、今後は地震対策、耐震補強について、耐震診断、設計、補強の必要性を持ち主が認識し、積極的に対策を行うような働きかけを行政が行わなければならないと考えます。市民の皆様には耐震診断、設計、補強に踏み切れるよう防災に対する意識付けを促していきたいと思います。

⑨ 火災時の消防車の走行道路について

参加者意見・質問

火災時の消防車の走る道について、場所によっては道が狭いところがあり、消防車が入ることができないと思われる場所があります。どのように対策をしていますか。

市長意見・回答

狭隘道路、密集地については、消防が年に数回訓練を行っています。消防車のホースを道に通し、地域の皆様にホースを持っていただき、消火の訓練等を行っています。平塚市はありがたいことに、自治会ごとに自主防災組織を組んでいただき、防災に対する意識は高く持っていていからこそできる訓練です。一緒に行動していただき、一緒に訓練をしていただき、地域の皆様と一体となり防災対策を行っていきたくと考えます。

⑩ 放射能汚染対策について

参加者意見・質問

放射能汚染について、保育園、幼稚園、学校等、子供たちに対して、どのような対策をしていますか。

市長意見・回答

放射能汚染対策について、消防に放射線量を測るカウンターがあります。震災後、カウンターを使用し幼稚園、保育園、小学校、中学校の線量を全て測りました。数値が大きくなかったことを確認し発表をしました。夏になりプールを使用する季節には、父母からプールの放射能汚染が心配であるとの声があったため、再度サンプルを採り東海大学の研究所にて検査をした結果、汚染は確認されませんでした。現在まで放射能汚染の数値は検出されていませんが、ここでホットスポットの問題があるため先日対策会議を行いました。子供たちがよく遊ぶ場所で集中した雨によりホットスポットとなりうる市内施設について、近々再度線量を測り報告をさせていただきます。平塚市では放射線の数値を測り、公表をし、安心して生活をしていただけるようにしていきたいと考えます。

⑪ 新庁舎の防災対策について

参加者意見・質問

新庁舎建設に向け、防災対策をどのように考えていますか。

市長意見・回答

先日発生した台風の対応の時、消防本部の1室を使用し夜中の2時過ぎまで対策を行いました。しかし、災害の情報を集め、判断を行う本部として、スペースが限られており不十分であると思いました。新庁舎に関しては、災害対策をしっかりと果たせるものとして、スペースも含めた災害対策本部の機能を持ち、周りの住民の方たちの避難にも対応できるものを建設するよう考えています。更に環境配慮型の庁舎であることを考えています。

8 市長によるまとめ

本来であれば、お一人ずつのお話しに答えたかったです。時間に制限があるため十分ではなかったですが、本日は大変貴重な御意見をいただきました。それを防災対策に反映することは、皆様にお集まりいただき、集会を開催した意義であると思います。まず、できること、具体的には避難ビルの着々とした進め、ハザードマップ、ロードマップのお示しをし、市民の皆様が安心していただくために努めていきたいと考えます。

なお、本日の集会を通して、着々と一歩ずつ進んでいる防災対策について、市が行っていることの進捗状況が皆様に見えていないところがあると思いますので、今後はぜひ進捗状況のお示しをしていきたいと考えています。

市長として、市民の皆様が安心して、安全に平塚市で暮らせることが基本中の基本であります。人にやさしいまち、住みよいまちをつくる、経済を発展させる等やるべきことはありますが、今年に関しては、皆様に御理解をいただき、市民の皆様の安心安全のための防災対策に税金を使わせていただくことにお認めいただければありがたいと思います。これは議会でも訴えかけていきたいと考えます。今日皆様に頂いた貴重な意見は是非参考にし、防災対策について、一つでも二つでも前に進めるよう取り組んでいきます。本日は本当にありがとうございました。

9 集会後の確認結果

対話集会の中で担当課に確認をすることについて、次のとおり確認をしました。

質問 津波避難ビルについて、協定を結んだ建物の持ち主等が避難時に危険であると思われる入口、階段等の改修工事を行った場合、改修費用について、平塚市からの補助の対象となるか。

回答 現段階では、改修等に係る費用について、平塚市で補助等を行う制度はありません。なお、津波避難ビルについては、現在の建物の状態で御協力いただける範囲でお願いしています。

(防災危機管理部防災危機管理課危機管理担当回答参照)

市民と市長の対話集会

市長と語ろう！ほっとミーティング

参加者・傍聴者アンケート結果報告

回答数 31件 (参加者 18件 傍聴者 13件)

参加者・傍聴者について

20代1名 40代7名 50代3名 60代10名 70歳以上10名
男性 17名 女性 10名 不明 4名

質問1 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

回答

	参加者	傍聴者
広報ひらつか	13名	5名
ポスターやチラシ	1名	1名
町内会など地域から	0名	2名
市ホームページ	1名	0名
その他	3名 (湘南ジャーナル等)	4名 (新聞、知人から等)
回答なし	0名	1名

質問2 市長との対話はいかがでしたか。

回答

	参加者	傍聴者
よかった	4名	1名
まあよかった	10名	3名
どちらともいえない	0名	4名
あまりよくなかった	1名	3名
よくなかった	1名	2名
回答なし	2名	0名

質問3 質問2であまりよくなかった、よくなかったと答えた方について、市長との対話でよくなかった点はどのような点ですか。

回答 課題に対する明確な方向性が出なかった。
対話の焦点がまとまっていなかった。
テーマをもっと絞るべきだった。
市長と一緒に考えるという対話にはならなかった。
発言の時間、機会が無かった。

質問4 御自身の考えや思いは伝わりましたか。(参加者対象)

回答

伝わった	3名
まあ伝わった	11名
どちらともいえない	1名
あまり伝わらなかった	1名
伝わらなかった	1名
回答なし	1名

質問5 質問4であまり伝わらなかった、伝わらなかったと答えた方について、御自身の考えや思いについて、伝わらなかった点はどのような点ですか。
(参加者対象)

回答 市民から有志を募るなどして「平塚防災戦略会」を組織してほしい、という点について。

質問6 対話集会について、御感想や運営への御提案はありますか。

回答 一人当たりの発言時間が少ないので、参加人数を減らしたほうがいい。
自己紹介、発言の時間が守られていない。
テーマをもっと絞ったほうがいい対話になる。
参加者の要望を聞く場ではない。
もっと問題解決のための対話になるようにしてほしい。
対話の内容や進め方など非常に良かったと思う。

質問 7 今後の対話集会でのテーマについて、取り上げたいことはありますか。

回答 当面、防災を取り上げてほしい。

防災の中でも、耐震対策について取り上げてほしい。

防災マップ、ハザードマップについて取り上げてほしい。

ゴミ収集について取り上げてほしい。

子育て支援について取り上げてほしい。